

2012年4月25日

神奈川大学非文字資料研究センター奨励研究募集要項

神奈川大学非文字資料研究センター
センター長 田上 繁

非文字資料研究に関する若手研究者育成のため、下記要領で奨励研究を募集します。

記

1. 募集内容

- A. 募集名称 奨励研究
- B. 募集件数 5件
- C. 応募資格 「非文字資料」の課題に関連する研究テーマを有する者で、次の①②のいずれかに該当する者。
①歴史民俗資料学研究科歴史民俗資料学専攻 博士前期・後期課程在學生
②外国語学研究科中国言語文化専攻 博士前期・後期課程在學生
- D. 研究費 研究に必要な経費を一人50万円を限度支援する。
ただし、申請書に記載の予算についてはセンターで審査する。
また、研究費の調達申請などは大学の定める期間内に行うものとする。
- E. 研究期間 2012年6月～2013年2月

2. 応募書類

- A. 2012年度神奈川大学研究奨励若手研究者申請書
- B. 主要業績1点(抜き刷りまたはコピー可。ただし「修士論文」を除く。)

3. 募集期間 2012年4月26日(木)～5月10日(木)

- 4. 条件 研究成果論文を提出すること(400字×50枚程度。締め切り:2013年7月下旬)
なお、提出された成果論文は、査読の上『年報 非文字資料研究センター第10号』に掲載する。

5. 選考書類審査

- 6. 結果発表 2012年5月25日(金) (選考結果を本人宛に通知する。)

- 7. 応募書類提出先 非文字資料研究センター(土・日・祝日を除く。8:30～16:30の間)

8. 応募書類配布場所

非文字資料研究センター(21号館3階 月曜日～金曜日 8:30～16:30)
日本常民文化研究所(9号館1階 月曜日～金曜日 8:30～16:30)
大学院歴史民俗資料学研究科共同研究室(9号館2階)
大学院外国語学研究科中国言語文化研究科研究室(20号館4階)

- 9. 募集説明会 4月26日(木) 15:00 21号館405会議室

以上

2012 年度 神奈川大学日本常民文化研究所
 非文字資料研究センター
 奨励研究申請書〔兼申請カード〕

受付番号

写真 (3 cm×3 cm)

1. 研究課題名および要約

研究課題名（日本語） 20～25 文字以内	
--------------------------	--

研究課題名（英語）	
-----------	--

研究課題の 要約	
-------------	--

2. 申請資格等

(フリガナ) (英語表記) 氏 名	◎	性 別	1. 男 2. 女	サイン (外国人のみ)
国 籍	生年月日	年 月 日 生 (2012 年 4 月 1 日現在 歳)		
		西 曆		

学 位	(西曆) 年 月 1.取得 2.取得見込	単 位 修 得 退 学	(西曆) 年 月 所定の単位修得の上退学(見込)
学 歴 (西曆)	1. ____年__月____大学____学部____学科卒 2. ____年__月____大学大学院博士前期課程入学 (____研究科____専攻) 3. ____年__月____大学大学院博士後期課程入学(見込) (____研究科____専攻) 4. ____年__月 博士(____)の学位取得(見込) 5. ____年__月 博士課程の所定の単位を修得の上退学(見込)		
職 歴	1. ____年__月 ~ ____年__月 2.		

現在の 研究指導者	(フリガナ) 氏 名		職 名	
	所属機関			
	部 局			

◎連絡先

1.現住所	〒 電話番号：() - (内線) 携帯電話番号： FAX 番号：() - e-mail：			
2.所属機関名 ・所在地	〒 電話番号：() - (内線) FAX 番号：() - e-mail：			
3.審査結果 通知先 (通知先が、上記 1又は2である場 合は該当数字に○ 印を付し、そうで ない場合に住所等 を記入する)	1.現住所	2.所属機関	3.その他(下記に宛先を記入のこと)	
	〒 電話番号：() - (内線) FAX 番号：() - e-mail：			

申請者氏名 _____

3. 現在までの研究とその成果：3,000字以内で要約すること（字数厳守）。

- ①これまでの研究と成果について、研究の背景・目的・特色・独創的な点について、記載すること。また、発表した主要な論文等も含めて記述すること。なお、論文を引用する場合は、「4. 研究業績」のうち、どの論文を引用したかわかるよう番号等を用いて明記すること。共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ②これまでの先行研究等の論文と比較しながら、本研究の独創的な点について記載すること。
- ③図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。
- ④発表した主要な論文を修士論文（作成中のものを含む）として差し支えない。ただし、その場合は、「修士論文」である旨を必ず明記すること。

申請者氏名 _____

4. 奨励研究費での研究計画

どのような研究計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。

(1) 研究計画（研究の背景及び国内外の研究状況等を含む）：1,000 字以内で要約すること（字数厳守）。

(2) 「非文字資料」との関係：600 字以内で要約すること（字数厳守）。

申請者氏名 _____

5. 研究業績

応募書類に添付する主要業績（論文等）に該当するものには著者名の前に○印をしてください。

全ての項目において著書・論文・その他に区分すること。

(1) 学術雑誌等（紀要等は除く）に発表した論文（採録決定・査読中のものを含む）

共著の場合、申請者が中心的な役割を果たした論文のみ記載すること。

- ①著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること）、題名、掲載誌名、巻号、頁、年月（西暦）を記入し、申請者にアンダーラインを付すこと。
- ②出版前の学術雑誌等については、採録決定・査読中の別を明記し、本欄に記載すること。ただし、採録決定されたものについては、受理証明書（メールのみでの受理証明の場合は、プリントアウトしたもので差し支えない）をP.5の後に添付すること。
なお、日本語・英語以外の受理証明書は和訳をつけること。
- ③学術雑誌等に発表した論文がない場合、(3)の欄に紀要等を記入すること。
- ④学会誌等における紙上発表については、その旨を明記して、この欄に記載すること。

著者	著書、学術論文の名称、発行雑誌の名称、巻号、頁	発行年月日	単・共著の別	著書・論文・その他

申請者氏名 _____

(2) 国際会議において発表した論文

国際会議において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。

著者	著書、学術論文の名称、発行雑誌の名称、巻号、頁	発行年月日	単・共著の別	著書・論文・その他

(3) 学会において口頭発表もしくはポスター発表した論文、紀要等に発表した論文

- ①学会において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。
- ②紀要等に発表した論文については、その旨を明記して、この欄に記載すること。
- ③特許等の業績については、この欄に記載すること。

著者	著書、学術論文の名称、発行雑誌の名称、巻号、頁	発行年月日	単・共著の別	著書・論文・その他

申請者氏名 _____

6. 奨励研究費予算書

研究奨励費予算（合計）		物品費（計）	旅 費（計）	その他（計）	
円		円	円	円	
使用内訳	物 品 費				
	品 名 等	規 格	数量等	単価(円)	金額(円)
	旅 費				
	調査先		人数	○泊○日	金額(円)
	そ の 他				
	用 途				金額(円)

申請者氏名 _____